同友会三つの目的

「よい会社、よい経営者、よい経営環境をめざす」

②同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

おきなわ同友会しんぶん
ニライ みらい

2021年（令和３年）
11月号
No. 404
発行：沖縄県中小企業家同友会
編集：広　報　委　員　会

〒901-0152
沖縄県那覇市字小禄1831番地1　沖縄産業支援センター603号
☎098-859-6205㈹　FAX.098-859-6208
http://www.okinawa.doyu.jp
E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp

「経世済民」の経営理念の基、人を育て世の中に貢献する

タマキハウジング㈱　代表取締役　玉城 英之 氏
（那覇支部）

「経世済民（けいせいさいみん）」という四字熟語をご存じだろうか。由来は古代中国の書物『抱朴子』や『文中子』にでてくる。「世を治め、人々を苦しみから救う」との意味。〝経済〟とは「経世済民」の略語でもあるという。今年の大河ドラマ「青天を衝け」で描かれている日本資本主義の父、渋沢栄一も「経世済民思想」を出版している。

今回は、「経世済民」を経営理念に掲げ、一貫して人を育て世の中に貢献することを目指している「環グループ」。その中核を担うタマキハウジング株式会社の玉城英之（たましろ　ひでゆき）社長からお話を伺いました。

創業者の社名に込めた想い

英之氏の父文一氏は、糸満ウミンチュの父と戦後の動乱時に貿易で生計を立てた気丈な母の間に一人息子として生を受けた。文一氏は漁業ではなく、建築の道を選ぶ。その理由は、毎年襲いくる台風により糸満の街並みや建物の甚大な被害を目の当たりにし、「どんな災害でも壊れない家を作れないのか」という建築への思いから大学の建築学科に進学する。卒業後、文一氏は県内建設大手の国場組東京支店に入社。創業者の国場幸太郎氏からは「クギ一本無駄にしてはいけない」と徹底したコスト管理などを叩き込まれた。

一九八〇年、文一氏三十一歳の時に独立。おりしもバブル全盛期。ベビーブーム世代が戸建て住宅を求める時期にも重なり業績は右肩上がりに上昇。途中、戸建てから共同住宅へのシフトチェンジもして難局を乗り越えてきた。

一九八五年には那覇市西に本社事務所を移転。商号も「環ハウス」に変更。社名「環」という文字は、永遠に繋がる、終りのないという意味。そして「宝物」「大事なもの」という意味もある。住宅はお客様にとって大切な宝。お客様に末永く使える宝物を提供し続け限りなく発展する意を込め社名にしたとのこと。

気が付けば父と同じ道へ

四人兄弟で次男の英之氏は幼い頃からモノ作りが好きで、建築現場で働く父の姿に憧れていたとのこと。小学校に入ってからは、休みの日になると父の現場についていき一輪車でブロック片を運び、左官職人の手元もしていた。現場で働く職人達の技術や汗を流す姿に「この人たちが父を支え会社も成り立っているんだな」といつも感じていた。高校時代から建設業への道を模索し始め、東京の大学で建築を学んだ。卒業後は都内のゼネコンに入社。振り返れば父と同じ道を歩んでいることに気づく。

入社後、大型分譲マンション工事現場配属の初日に上司からスコップを持たされ穴掘りを命じられる。現場の雰囲気も作業も小さい頃から経験しているおかげで、苦にはならなかったが「これが仕事か？」と上司へ疑問を持ったが、黙々と作業を続けた。数日後、自分は試されていたことが分かり「仕事は信頼が一番大事」と上司から教わった。今でも肝に銘じている。

入社して三年後のある日。父が突然訪れた。「体調が良くない。沖縄に帰り仕事を手伝ってほしい」と懇願された。やっと仕事も任されてきた時期なので、大変迷ったが、尊敬する父からの願いだったので悩んだ末、円満退社し沖縄に戻った。

先に入社していた兄から「父は元気でバリバリ働いている」と聞かされ初めて騙されたと気づくが、後悔はなかった。

分社化し、経営者となる

二〇〇五年。環ハウス㈱に入社。ゼネコン時代と異なり建築作業を内製化し外注費を抑える創業者の手法はローコスト建築で顧客からの支持は高かった。二〇〇八年十月には、タマキハウジング㈱を設立。社長を任された。父からは「一から経営を経験しなさい」と。一部の社員と共に環グループの建築生産部門として創業した。

英之氏は建築現場出身者で技術系、営業は不得手であったがステークホルダーに支えらながら今日まで会社を発展させてきた。二〇〇九年七月二日同友会に入会。さまざまな業種の経営者と交流し経営を学ぶ。日々勉強・日々挑戦をモットーにこれまでの技術的知識と誠実な行動で徐々に取引先からの信頼を築いた。

順調に進んできた矢先の、二〇一〇年八月。文一氏が突然他界。家族もグループ全体も大きな悲しみに包まれた。英之氏二十九歳のときである。

カリスマ社長を失い、周囲の声は厳しかった。しかし、現会長の母と三十一歳から二十五歳までの若い息子達はお互い激励し合い「なにくそ、負けるもんか」と腹を決め難局に立ち向かった。また「業績をさらに伸ばし発展させることが、愛する父への恩返し」だと目標を定め日々仕事に取組んだ。その結果十年後にはグループ全体の業績が倍増し、社員数も三十名から九十名（パート・契約社員含む）に増え、さらには東京に支店を構えアジアへのマーケット拡大を試みている。

業界の魅力発信と共に人材採用・育成に力を注ぐ

先日、沖縄県よりSDGsのパートナー企業として認証された。これからも社会貢献活動を続けたいとのこと。少子高齢化で建築業界も深刻な人出不足。業界の魅力発信に力を注ぎ人材の採用と育成で環グループを継続発展させたいと意気込む玉城英之氏の今後に期待したい。（仲地治）

《会社概要》
タマキハウジング㈱
代表取締役　玉城 英之 氏
〈那覇支部〉
所在地／那覇市古波蔵3-5-43　1F
ＴＥＬ／098-831-9296
業務内容／戸建住宅、アパート、分譲マンション建築、総合建設業

茶論

あたゝかき十一月もすみにけり／草田男▼昨年二月から続くコロナ感染拡大。経済や日々の生活に大きな爪痕を残している。九月で緊急事態宣言は解除されコロナ感染拡大の波も止まったかにみえるがまだ予断は許さない。この間に世界の政治経済状況も大きく変わった。イギリスのEU離脱、ミャンマー軍クーデター、アメリカバイデン政権、アフガンタリバン政権など…▼日本でも東京オリンピックの延期と開催、コロナ禍による経済の収縮と対策費の膨張、岸田文雄内閣の誕生と総選挙…先の見えない「VUCA」の時代の舵取りが重要だ▼ここ数年、聞きなれない政治経済用語が次々と出てきた。「成長と分配」、「新自由主義」、「新しい資本主義」、「令和版所得倍増計画」、「金融所得課税」、「一億円の壁」、「トリクルダウン」、「ベーシックインカム」、「小さな政府／大きな政府（機能する政府）」等▼経済、経営の分野では「二〇二五年の壁」、「カーボンフリー」、「SDGs」、「EGS」、「DX」、「カスタマーサクセス」、「サブスク」、「キャッシュレス社会」、「地方創生」、「ティール組織」など▼「なんか難しいな」とスルーしてはいけない。この言葉の中に時代をブレイクスルーするヒントが隠されているからだ▼冬来たる眼みひらきて思ふこと／鷹女（作古）

障がいのある方が地域で働き、地域で暮らすために
第十五回雇用・就労支援フォーラム

講演を聞く参加者

去る十月二日に、第十五回雇用・就労支援フォーラムが沖縄産業支援センターとZoomの併用にて、一六四名の参加で開催されました。開会式では、特別支援学校・就労支援施設の皆様へ「はたらく人」「将来の夢」「あこがれの仕事」をテーマに募集をした絵画の表彰式が行われました。その後、鏡が丘特別支援学校の翁長さんと、㈲フィーチャー企画に勤務している島尻さん、障がい者ITサポートへ勤務されている大城さんの３名より体験発表のビデオ上映を行いました。

基調講演
障がい者・ホームレス雇用で清掃業からパークマネジメント業へ
㈱美交工業 専務取締役　福田久美子 氏

講師の福田久美子氏

㈱美交工業はビルメンテナンス、公園管理を営む社員数一七五名（障がい者雇用率二十二％）の大阪の中小企業です。

二〇〇三年から始めた知的障がい者の雇用をきっかけに、ホームレスの雇用にも及んだ、経営の視点からのメリット、取り組みが報告されました。以下、その点に絞って記載します。

障がい者を雇用するとき、これまでの仕事のやり方を見直し、共同で働けるよう業務改善します。これまで無理、無駄が潜んでいても、漫然と取り組んでいたやり方を改め、障がい者を働く戦力として活用し、安全で無理のない仕事のやり方に変えていきます。これは健常者にとっても合理的で無理のない仕事のやり方を提供することになります。

また、仕事のやり方を社員と共に話合うことにより、コミュニケーションが活発になり、社員の帰属意識や明るい会社づくり、社風の変革にもなります。障がい者雇用は業務改善、社員の一体感を生み出し経営の変革を目指す取り組みです。

（㈱夢づくり沖縄・新井良直）

第１分科会
障がい者雇用を通して働き方を考える
㈱共栄環境　代表取締役　下田　美智代 氏
在宅就労支援事業団那覇どこでもワーク　朝比奈めぐみ 氏

報告者の下田氏（左）と朝比奈氏（右）

始めに、下田氏が障がい者雇用に興味を持ったきっかけや、実際に障がい者を雇用して苦い経験等の報告がありました。

その後、下田氏は朝比奈氏と縁を持つ機会があり、在宅ワーク雇用者の提案を受けます。当初、自分がこれだけ飛び回り忙しくしているのに、在宅ワークができる訳がないと思っていたようですが、「業務の切り出し」の言葉を信じて在宅ワークの雇用を実践していきます。

また、実際の訓練等ビデオを交えながら紹介もあり、下田氏の元に雇用されている方の事例報告がありました。

また、朝比奈氏からは同友会事務局の阿波連さんの報告もあり、Zoomで参加されていた本人からのメッセージでは、「初めてもらった給料」「納税者として社会の一員として実感」等々のお話しが感動でした。

第２分科会
障がいのある方もない方も共に暮らし働ける現場を創る～支援編～
（同）AICOサービス管理責任者　佐藤香菜子 氏

報告者の佐藤香菜子氏

佐藤さんは、元々支援学校の教員でした。人が成長していく姿を見守ることが好きで、将来、就労施設をつくることは心に決めていましたが、まずは経営を学ぶ為に他の施設へ就職します。

しかし、職場の仕組みに疑問を感じ、改善しようとしますが理解を得られないことに限界を感じます。そして、一念発起！自分で作ればいい。いずれは起業するつもりだったのだから！と起業を決意。いくつかの就労施設を運営しながら、二〇一七年七月旭橋にRistoranteAICO×COを開業しました。

障がいの種類や程度によってグループ分けし、その性質に合った仕事を割り当てる仕組みを作りました。一人ひとり違う個性に、細やかな配慮をし、就労を支援しています。

グループ討論では、施設で働くスタッフ側の不平不満などの対処に困っている、社員教育はどうしているのかという質問が寄せられ、スタッフに対しても、自身の経験や取り組みに基づいた指導を丁寧に行っている様子が聞き取れました。

行動力溢れる佐藤さんには、「まだまだいろんなカテゴリーで就労支援施設を拡大させていく！」と、さらなる夢が続きます。（中村印刷㈱・知念由紀）

続けて共栄環境が、障がい者の在宅ワークを採用したことで、仕事の明文化やデータが蓄積され、大幅な業務改善で利益アップにつながる等の報告もありました。

また、在宅ワークだけではなく軽作業を行ってもらう方もパートタイマーとして雇用した事での一般社員も含めて多くの学びがあったとの報告もありました。

最後に「障がい者雇用は特別なものでなはい」との座長のまとめやグループ討論において「障がい者雇用で利益が上がる！」等の発言まで出てきた多くの気付きのある分科会になりました。（あいエフピー・大浜博文）

沖縄の気になる数字 14

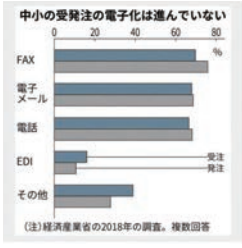
電子データ交換（EDI）

①受発注データのやりとりには「電子データ交換（EDI）」という方法が使われている

②中小企業のEDIの導入率は２割に満たない

③EDIを導入した中小企業では、データ入力など業務時間が半減した事例がある

④データ分析で経営状況が見えやすくなるほか、データを使った融資など資金繰りの改善なども期待できる



オフィス星崎
代表　星崎浩二 氏

コースNo. 301

1日でわかる！「儲ける力」のポイント　３年ぶり開催

会計情報活用講座

［沖縄教室（沖縄産業支援センター開催）］

研修のねらい

この研修では、会計情報から経営課題を可視化して現状を客観的に把握することの重要性や、会計情報を自社経営に活用する視点を学びます。特に、現状の財務構造からどのように利益を生み出すかを演習を交えて学び、利益・資金計画を実現するための進捗管理のポイントを身に付けます。

研修期間
2022年 1/19（水）【1日間】

会場
沖縄産業支援センター
沖縄県那覇市字小禄1831番地1

対象者
経営者・経営幹部・後継者

定員　30名
受講料　16,000円（税込）

講師紹介（敬称略）

城所会計事務所（経営革新等支援機関）代表
城所 弘明
（きどころ ひろあき）

横浜国立大学経営学部卒業、監査法人中央会計事務所にて監査業務に従事。公認会計士３次試験に合格後、税理士資格も取得し、城所総合会計事務所を設立。
現在、建設業・製造業などの税務、資金繰り、監査、公開業務等の指導の他、「経営事項審査」のコンサルティング、商工会議所・区役所等の実務セミナー講師として活躍中。

申込書は人吉校ホームページからダウンロードできます。必要事項を記入の上、FAXにてご送信ください。また、人吉校ホームページからはオンラインでのお申込ができます。

Be a Great Small. 中小機構
中小企業大学校 人吉校
TEL：0966－23－6800（平日9:00～17:30）
FAX：0966－22－1456
お気軽にお問い合せください。
人吉校　検索

第３分科会

パネルディスカッション
コロナ禍における障がい者就労について

パネリスト山城氏（左）と亀山氏（右）

はじめに、厚生労働省職業安定局障害者雇用対策課・課長の小野寺徳子氏から、日本の障がい者雇用状況のデータをもとに、沖縄は全国と少し違う特徴があるとして、コロナ禍で障がい者が求人活動を控えた流れも付け加えられました。

また、障がい者の仕事が減った事実はあるが、新しい仕事の作り出しや、人材のスキルアップに取り組んだ企業もあったとの報告がありました。

㈱リウボウストアの亀山弘貴 人事総務次長は「昨年はコロナで実習ができず、採用に踏み切れなかった。ルールの理解、コミュニケーション能力、働く意欲などが採用の決め手であり、秋口から来春に向けて採用活動をすすめていく予定である」と報告がありました。

那覇市役所福祉部障がい福祉課　相談Ｇ山城悠子主査からは、那覇市の福祉サービスの諸制度と那覇市独自のジョブサポーター制度についての説明がありました。

コーディネーターの島村聡氏

最後に、コーディネーターの沖縄大学・島村教授から、「障がい者雇用で企業が変わっていくと実感できる企業を確実に増やし、共有し合って、前進していきましょう」とまとめ、会を閉じました。（㈱おきなわｅｄｕ・比嘉佳代）

浦西支部　九月支部例会

夢を叶える三原則
～社員を幸せにする二〇年計画～

報告者：㈱リウデン 取締役総務部長　謝敷 千恵子氏

九月二十四日、浦西支部九月支部例会が、ピーズスクエアとＺｏｏｍの併用で、二十六名の参加で開催されました。

謝敷さんは、二人のお子さんを出産後、リウデンへパート入社しました。その二年後に、正社員として経理の仕事を担当します。

報告者の謝敷千恵子氏

リウデンは、通信の下請け業者として、廃業する会社の従業員の七名を引き取る形で一九九四年に創業します。創業から十五期までは、ＮＴＴグループの通信事業が売り上げの九〇％を占めていましたが、徐々に自社営業へシフトし、現在は自社営業六〇％と新規が一八％となり、黒字決算と無借金経営を継続しています。謝敷さんは二〇一四年に取締役に就任し、経営にも関わるようになりました。

経営理念の「人間を幸せにする」は、自分の置かれた環境で、一生懸命に仕事をし、自分は幸せだと思えるような生き方をしなさいという意味が込められています。

社員満足のために、充実した社内研修、余暇活動、家族を招待してのイベントも行っています。社員には、仕事と人生の両方の目標を立ててもらい、リンクさせるようにしています。メンタルヘルス・人生設計・二〇年計画を全社員で立てるなども積極的に行っています。経営理念を紐解き、老婆心を持って社員に関わっていくことを、経営幹部として社員に伝え続けています。

報告の後、「求める社員像は？」のテーマでグループ討論を行いました。座長のまとめでは、女性で取締役になる大変さもありつつ、改革が出来る人であるということ、社員の自主性を重視した経営を行っていて、それが叶えられる会社であることに学び、自社で生かしていきましょうと締めくくりました。（事務局）

社長・社員共育塾第二講

誰一人も解雇しない
～従業員ファーストの会社をめざして～

講師の羽地朝昭氏

去る九月二十一日に社長・社員共育塾第二講が沖縄産業支援センターとＺｏｏｍ併用で開講され、受講生六十二名を含む九十三名が受講しました。

今回は㈱沖縄物産企業連合の羽地社長が講師を務めました。先代社長の急逝により、突然社長を継ぐことになった羽地氏。初代、二代目社長はカリスマ的なリーダーシップを持つチャレンジ思考の経営者でしたが、羽地氏はそこをめざすのではなく、これまで頑張って会社を支えてきた社員が報われるよう「従業員ファーストの経営」を志し、社員の待遇改善や株主の整理、コロナ禍においても従業員を解雇しないことを宣言するなど、社員が安心して力を発揮できる環境づくりを愚直に実践し、成果を上げてきました。

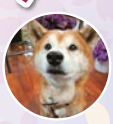
講義終了後、「あなたにとって従業員ファーストの経営とは何だと思いますか？」のテーマでグループ討論が行われ、社員が力を発揮できる環境をどのようにつくっていくか、リーダーとしての姿勢や覚悟について活発に意見が交わされました。（事務局）

文進印刷株式会社
本　社／〒901-0416　沖縄県島尻郡八重瀬町字宜次706－4
TEL（098）996－3356（代）　FAX（098）996－3357
那覇営業所／〒902－0074　沖縄県那覇市字仲井真201番地18
TEL（098）855－2323（代）　FAX（098）996－3357
浦添営業所／〒901－2111　沖縄県浦添市経塚811－14
TEL（098）879－9303（代）　FAX（098）996－3357
宜野湾営業所／〒901－2214　沖縄県宜野湾市我如古3-11-5 1F
TEL（098）898－1055（代）　FAX（098）996－3357
沖縄営業所／〒904－2165　沖縄県沖縄市宮里２丁目１番３号
TEL（098）937－8607（代）　FAX（098）996－3357
糸満営業所／〒901－0303　沖縄県糸満市字兼城473-10 グレイスコート102
TEL（098）994－5777（代）　FAX（098）996－3357
うるま営業所／〒904－2215　沖縄県うるま市みどり町3-19-5
TEL（098）973－5676（代）　FAX（098）996－3357
平成19年２月６日、個人情報保護のための仕組みである、JISQ15001：2006（プライバシーマーク 認定番号24000306（07））を取得いたしました。

＜南部支部会員＞

会員ホット情報
今おすすめだよ！

やさしい花贈りのカタチ



㈱ゆいプランは元々、松山にある老舗の花屋さんの同僚だった四名で、葬儀を専門とした事業を立ち上げようと、十一年前に創業しました。

県外で葬儀供花の技術を習得し、沖縄では三本の指に入るほどの高いレベル持つようになると、葬儀屋さんに口コミで評判が広がり、軌道に乗ることが出来ました。

最近は、「新型コロナ」の影響を受け、葬儀の規模が縮小されるなど、売り上げは六割減になりました。そこで八月より、企業向けの新しいサービスを開始しました。これまでに、開店祝いや周年イベント等でお花を届ける際に、たくさん届いて置き場所がない、管理しきれない等、お花を贈る側ともらう側との想いのギャップに心を痛めることがありました。お互いが喜ぶ贈り方の提案として、とりまとめるのが「ＨＡＮＡＭＵＫＥ」です。

大嶺尚志 氏

お得意先にご案内する招待状に、ＱＲコードを添付し、受け取る側のお客様の希望に応じた形式で、お花を受け付けます。お礼状がすぐに送れるように、注文先リストの作成はもちろん、持ち帰れるようなお花を希望される場合や、飲食店または病院など、受け取るお客様のイメージに合う統一感のある装飾にすることが可能です。

また、取りまとめを行った後に、既存の取引先であるお花屋さんに発注するなど、お客様を尊重したコラボレーションも可能です。県外では既に定着しているサービスですが、沖縄ではまだ取り扱いが少なく、これからの広がりが期待できます。

大嶺専務は、葬儀に関わる中で、同じようなお花が、業者によって金額が様々であることに疑問を持ち、花屋だからできる花葬儀の提案をしたいと、「朝桜（あさくら）」という会社を立ち上げました。お花屋さんを組織化して、社員の収入を上げたいと、新たな事業に取り組んでいます。

看板犬のヨータ君に見送られ、現在改築中のテラス席が仕上がった頃に、また訪れたいお花屋さんでした。

新しい取り組みに挑戦する「ゆいプラン」へ、いつでもご相談ください。（事務局）

《会社概要》
㈱ゆいプラン
専務　大嶺 尚志 氏
〈浦西支部〉
所在地／那覇市宇栄原950-1 ハイツタイラ1階
ＴＥＬ／098-857-8739
事業内容／小売業（生花店）

ビジネス連携部会「ゆいま～る」九月部会例会
みやぎ農園の行う美しい地域づくり

Zoomで報告を聞く参加者

九月二十八日、沖縄産業支援センターとＺｏｏｍ併用にて、ゆいま～る部会例会が開かれ、二十一名の参加がありました。

「養鶏業から循環型農業へ～みやぎ農園の行う美しい地域づくり～」のテーマで、㈱みやぎ農園・社長の小田哲也氏に報告いただきました。

小田氏は当時、千葉県の大学で農業の研究をしていく中で、研究から農業の現場の仕事をしていきたいと思い、ドイツに研修に行き様々な経験をします。創業当時は鶏を購入して卵をつくることからスタートし、今では食品加工、祭事出店、他農家の屋台販売、農産物の栽培の履歴管理、特別栽培、輸出や技術支援などを手広く行っています。

小田氏の養鶏場では鶏を平飼いしており、日光浴、砂浴び、空間移動など安心して卵が産める環境も大切にしています。

また、一級卵以外にも価値をつけて資源とし、加工したりして捨てずに活用しています。

その他、畑も連動して自社農場、訓練補助や研究など、いろんな側面をもった農場です。

契約農家との連携や国外の農家・養鶏農家との連携、小売量販店との連携、農福連携など、五十年後、百年後も経営を続けられるために様々な工夫をして経営をしています。

報告では農業の魅力や課題なども挙げており、有意義な例会となりました。（事務局）

第四回新人フォローアップ研修会
コミュニケーションゲームを通してチームビルディングを学ぶ

講師の西川利明氏

去る九月二十七日、沖縄産業支援センターとＺｏｏｍ併用により、第四回新人フォローアップ研修会が開催され、受講生一一八名が参加しました。

今回は、「コミュニケーションゲーム」のテーマで、イコールパートナーの西川利明氏が講義を行いました。

スマホを駆使しながらチームで協力して答えを導き出すワークを通して、効果的なコミュニケーションやチームビルディングについて学ぶことができました。

一回目は野球のポジション、二回目は打席順を当てはめるゲームで、一人一人が持っている情報・役割が違うため、各チームで作戦を立て、素早く答えにたどりつくために、会話をしながら攻略をめざしました。

コミュニケーションを行う際の①目標②役割③進め方④関係性の要素を、ゲームを通して楽しく学べる講義となりました。（事務局）

那覇支部経営基礎講座第二講
コロナ後にむけた自社の財務体質強化の方法を学ぶ！

去る九月十五日に那覇支部経営基礎講座第二講が開催されました。

「コロナ後の銀行取引を見据えた決算書の読み方・作り方」のテーマで、合同会社グラッド大城　章氏に、講義を頂きました。

銀行の変遷、悪の三勘定＋一、Ｂ／ＳとＰ／Ｌ、現金損益®など、内容盛りだくさんで、あっという間の二時間でした。

融資を受ける際、Ｂ／ＳとＰ／Ｌはとても重要です。自ら説明できるよう、把握する。印象が悪くなる貸付金、立替金、未収入金、繰延資産の通称、悪の三勘定＋一を残さない。これら、きちんと回収目処が立っているか、本業に関連する費用かが重要。

また、純利益を見るだけでなく、そこから引かれる費用もきちんと把握し、最終的に手元にお金が残る様に、事前に計画することが大切だと学びました。

相手の立場で考えると、視点が異なるということを学んだ講座でした。（三重金属工業㈱・上地裕介）

会場の様子

わが社のポリシー　第302回
助産院パピヨン
院長　伊佐 恵莉可 氏

一〇〇年先の未来を考える

助産院パピヨンにお邪魔すると、生まれて一カ月の赤ちゃんを抱いた伊佐さんに迎えてもらいました。

赤ちゃんは、産後疲れのお母さんに休んでもらうために預かっています。すやすや眠っている赤ちゃんを交えての取材となりました。

助産院は、自宅を兼ねていて、和室にベッドやおもちゃ等があり、居心地のいい空間になっています。

長年、病院で助産師として働いていた経験から、起業の際の思いを聞かせていただきました。「病院では、主に分娩に立会、母子の健康に寄り添い、やりがいと楽しさを感じていましたが、より近い距離で、子育ての悩みや不安、心のケアなどを行い、肯定的な子育てに繋げたい、性教育の大切さを届けたい、生まれた子どもたち一人ひとりが、大切と思われる社会にしたい」という強い思いを語ってくださいました。

伊佐恵莉可 氏

助産院パピヨンの理念は、「一〇〇年先の未来を変えるプロジェクト」サービス内容は、妊産婦検診・産後ケア・母乳ケア・思春期相談・オルゴン療法施術等、多岐にわたります。予約制で、個別相談に対応しています。

又、助産院の運営にとどまらず、一般社団法人あるにも参画し、十代ママくらぶや、いのちの教室などの活動を行っています。

十一月八日の第三十一回経営研究フォーラム第六分科会の実践報告者でもあります。

今後の活躍にエールを送りたいと思います。（オフィスＪキャリア・平良純子）

《会社概要》
助産院パピヨン
院長　伊佐 恵莉可 氏
〈中部支部〉
所在地／宜野湾市我如古2-7-1
ＴＥＬ／090-1949-4113
事業内容／産前・産後サポートケア（訪問含む）、オンライン相談

社労士・コンサルタント　青山喜佐子の　知って得する　シリーズ164
コロナでリスキング（学び直し）

リスキング（学び直し）という言葉を耳にすることが増えました。この二年間はコロナに対応しながら、企業の人材育成が大きく変化しています。

新入社員研修は、会場型は五〇・六％で、リアルとオンライン半々で行った企業二五・二％（㈱ディスコ調査）となっていますが、中小企業では多人数でないメリットを生かして従来通りのＯＪＴ（企業内研修）を実施することができました。新人の基礎力は社内の上司・先輩が日々の指導と、テレワークなど新しい働き方も導入しました。

反面、社外研修が開催されず、外部メンバーとの交流が少なく、新しい情報交換やモチベーションの維持で課題が残りました。

オンラインを使った新しいコミュニケーションを体験した若者の視点や能力開発は、これからの時代にさらに求められる力です。先輩社員もこれまでの経験重視だけでなく、技術革新のスピードに対応するための「学び直し」が必要になります。

その意味で「リスキング（学び直し）」は世界のキーワードになっています。

コロナ下の変化で、教育担当者が「良かったこと」として、会社全体でＩＴスキルが向上した「残業が減少」「ｅ-ラーニングで学習時間の確保と多様な学びができた」「人材育成は指導者任せにせず、会社全体で行った」などを挙げています。

新しい時代にふさわしい育成方法やＩＣＴを活用した社員の能力開発・働き方・コミュニケーション能力を追求し、組織力を高めていきましょう。

〈プロフィール〉
社会保険労務士
日本産業カウンセラー
大学非常勤講師
市町村行政改革推進委員など
社会保険労務士法人 オフィスあるふぁ
TEL/098-870-6686

青山喜佐子（あおやまきさこ）
（社会保険労務士法人オフィスあるふぁ所長）

八重山支部設立30周年記念事業
第25回さきしま経営フォーラム
日時　11月26日（金）16:00～20:30
会場　ホテルミヤヒラ、ZOOM　参加費　無料
内容　第Ⅰ部「第25回さきしま経営フォーラム」（16：00～19：00）
テーマ　withコロナの挑戦
～今こそ同友会らしい人を生かす経営の実践を～
講師　㈱まるは　社長　坂野豊和氏（愛知同友会）
第Ⅱ部「八重山支部設立30周年記念式典」・「懇親会」（19:15～20:30）
5,000円（懇親会まで）

2022年新春のつどい
日時　2022年１月20日（木）16：00～18：30
会場　ラグナガーデンホテル、ZOOM
内容　第Ⅰ部「新春講演」（16:00～17:30）
テーマ：飽くなき挑戦！３年後のパリへ
～「諦める」は簡単、「続ける」が大変～
講師：上与那原寛和氏（パラリンピックメダリスト）
第Ⅱ部「名刺交換会」（17:40～18:30）※ZOOMなし
参加費　講演のみ1,000円、懇親会費4,000円

中小企業家同友会全国協議会第54回定時総会
（沖縄同友会創立35周年・本土復帰50年）
日時　2022年７月７日（木）～８日（金）
会場　調整中　主催　中小企業家同友会全国協議会
設営　沖縄県中小企業家同友会